令和2年 別府市特別功労表彰

11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。「特別功労表彰」を受賞された6人1団体の方々、「功労表彰」を受賞された37人4団体の方々を紹介します。（順不同）

谷口 英昭（たにぐち ひであき）さん

昭和51年から別府市歯科医師会の理事を12年、協議会議長を3年、会長を3年、監事を10年、合計28年間別府市歯科医師会の要職を歴任され、会員の学術の研鑽（けんさん）をはかり医療向上に努め、地域医療・保健の普及向上に寄与された。また、地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動に尽力され、東日本大震災では警察歯科医として身元確認に助力された。

藤内 英伸（とうない ひでのぶ）さん

昭和49年に消防団員拝命後、率先した地域住民への火災予防の周知活動や勇敢な災害活動などが認められ、昭和52年4月から消防団本部に異動。平成26年の湯山林野火災では出動団員130人を束ね陣頭指揮を行い、延焼を最小限に抑えた。平成30年4月に消防団長に就任後は、消防団組織の強化・充実、消防装備等の機動化を図るなど消防団の活性化及び増員対策に寄与されている。

尾野 耕一（びの こういち）さん

別府市陸上競技協会の理事を25年、理事長を18年、現在は副会長として協会の運営、選手の指導育成などに尽力されている。また、小学生陸上教室を立ち上げ、小学生の指導及び指導者の育成を28年間、年60回開催し、これまでに全国大会出場者18人、県記録者2人を含め、卒業生はのべ千200人以上にのぼり、陸上競技の普及啓発及び生涯スポーツの推進に多大な功績がある。

別府八湯ウォーク連絡協議会 様

平成11年から地元ボランティアガイドによる市内の街歩きツアー「別府八湯ウォーク」を実施され、独自の工夫を凝らした20近くものコースを造成。別府の魅力を伝える活動として市民の生活・文化・歴史に根ざしたありのままの別府を体感するツアーを長年実施され、各ガイドはツアー参加者を温かく迎えておもてなしの実践に尽力されるなど、観光振興の発展に寄与されている。

大隈 信幸（おおくま のぶゆき）さん

昭和61年から別府市薬剤師会の理事を11年、監事を10年務め、別府市薬剤師会の運営に携わり、支部の発展に貢献された。また、昭和55年から学校薬剤師として教育現場や水質、衛生の検査指導を長年行い、地域の保健衛生に寄与されたほか、阪神淡路大震災では現地で薬剤師ボランティアを行い、被災者支援に助力された。

長尾 秀樹（ながお ひでき）さん

昭和61年から学童野球チームの監督として34年間指導を行い、少年球児の技術向上、健全育成に寄与された。小学校3年生以下の試合（現オレンジボール大会）の実現や別府市内学童野球チームの冬の運動会（親善オリンピック）会長を務めるなど、少年野球の普及、振興活動に努め、多くの球児を育成した功績は多大である。

板井 恵子（いたい けいこ）さん

平成元年から民生委員児童委員に就任し、一人暮らし高齢者などの見守り支援を続け、地域住民のパイプ役として行政等関係機関と蜜に連携をとり、現在は民生委員児童委員協議会の副会長として牽引（けんいん）し、地域福祉の向上に努めている。また、別府市社会福祉協議会評議員や別府市要保護児童対策地域協議会委員などの役職を多く担っており、地域福祉に貢献されている。

令和2年 別府市功労表彰

（敬称略・順不同）

自治部門

國實久夫　野上泰生　山本國雄
田中信行　古庄改造　古城正一
平原六男　平石栄二　麻生英俊
森永静夫　池田美代子　三重野治久
井上直利　大野雅之　伊藤征一郎

公共福祉部門

東田晃次　赤嶺リサ　末次由和
佐藤富美子　山川妙子　渡邊津貴子
後藤智　久保田麻里子　荒金薫
安藤慶子　岡田洋輔　衛藤富喜雄
後藤公子　柴田悦子　ぽけっとの会
村田辰巳　藤内正行　江藤達治
前田和宏　別府温泉 杉乃井ホテル
美湯の宿 両築別邸

教育・文化・スポーツ部門

水谷浩一　清時重男

市民活動部門

別府友の会　中田宗治　奈須和美